

【図表】

図 1 : 栄養摂取法の選択⁽¹⁾



図 1 栄養摂取法の選択

EN : enteral nutrition, PN : parenteral nutrition.

PPN : peripheral parenteral nutrition, TPN : total parenteral nutrition

栄養を摂取する場合、消化器機能を基にして、使用可能であれば「経腸栄養法」を、また使用できなければ「経静脈栄養法」を選択して栄養管理する。

図 2 : 経腸栄養法の投与経路の選択⁽¹⁾

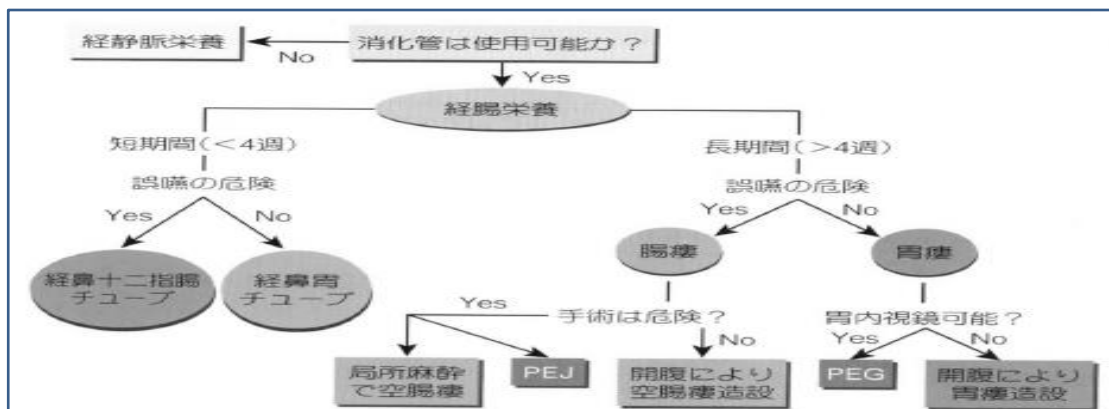


図 2 経腸栄養剤の投与経路の選択

(Gorman RC : Clin Nutrition : 174, 1997 より引用)

PEG : percutaneous endoscopic gastrostomy (経皮内視鏡的胃瘻造設術)

PEJ : percutaneous endoscopic jejunostomy (経皮内視鏡的空腸瘻造設術)

経腸栄養剤の投与を考える場合、「使用期間 (4 週間を目途)」と「嚥下ができるかどうか」が一つの目安となる。

図 3 : 免疫グロブリン産生細胞の分布⁽¹⁾

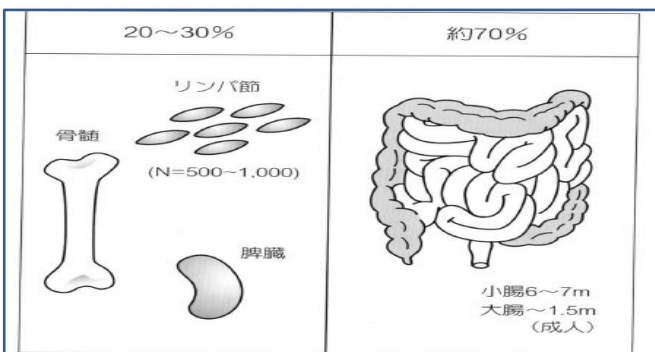


図 1 免疫グロブリン産生細胞の分布

(青木克憲 : 静脈経腸栄養 16 (3) : 3-7, 2001 より引用改変)

粘膜は免疫に深く関係しており、特に腸管(粘膜)にはパイエル板を中心に、免疫グロブリン産生細胞である B 細胞のうち約 70% が存在している。